

現在と未来は変えられる！ 自分の人生をしっかりと考えて生きよう

校長、副校長、教頭からメッセージ

秦野高校へ赴任されて4年目になる神戸校長、3年目になる久保寺副校長へ4つの質問、そして今年度赴任された込山教頭へ5つの質問をしました。皆さんへの思いがこもったメッセージをお伝えします。

「未来への扉」へ最初の一步を踏み出せ

神戸 秀巳校長

「日々思っていること、心がけていることを教えてください。」

「過去は変えられないけれども、現在と未来は変えられる。」

未知の事柄に対して、不安から恐れを抱くのはあたりまえです。過去の失敗から、ちゅうちよして、一步をなかなか踏み出せません。しかし、「誰のために？」

「何のために？」と自分に問いかけ、強い意思をもって「感・即・動」(感じたら、すぐに動くetc.)

を実践すると、「未来への扉」が開き、ワクワクする世界が出現するのです。

ほとんどの「限界」は「自分の心の中」にあるのです。20年以上前の私から、現在の「超プラス思考」の私を想像することは無理だと思えます。

「やりたいことが見つからない生徒がとるべき行動とは。」

「現小学生の65%は今はない職業に就く」(2011年、アメリカの論文)が話題となっています。新たな状況に対応できる能力が求められていることは確かです。一方で、生活基盤を安定させるために「働いて金を稼ぐ」ことは大切です。

「できない理由を考えるより、できる方法を考える」と言っているように、「でも」「だって」「どうせ」のマイナス思考ではなく、「自分にとって望ましい将来とはどういう状況か?」「誰のための人生か?」をしっかりと考えることが重要だと思っています。

「なりたい職業が決まっていないう高校生は、「あり」です。現状を打破し、道を切り拓くためには、あれこれ「動く」ことです。

「イヤだから」「かったるいから」「損だから」と実践しないことはNGワードだと気づきましょう。

「1年生、2年生、3年生へそれぞれの学年でやっておいたほうが良いことを教えてください。」

根本的なところでは、学年による違いはそれほどないかと思えます。「人生の中で、一番多くを感じ、一番成長する時期である高校の3年間を、未来起点、をもつて精一杯充実させること」が大切です。この時期の「土台」がしっかりとしていれば、友人関係や部活動、学習などすべてにおいて、将来様々に飛躍する可能性が高まります。

もちろん、「土台」がしっかりとできなかったとしても、多少時間は余分にかかるでしょうが、「本気・実践・気づき」で「前進」を続け、「未来への扉」を開け続け、宝物をいっぱい手にすることは可能です。

「生徒へかける「魔法の言葉」をお願いします。」

4月に紹介したキング牧師の言葉をお読みください。

『疑うことなく、最初の一步を登りなさい。階段のすべてが見えなくてもいい。とにかく、最初の一步を踏み出すのです。』

「面白く感じるとき、人は自ら動く」とよく言いますが、地理的(神奈川→全国→世界)な視野、時間的(現在→未来)な「視野」、これら2つの「視野を広げる」ことで、これまで見えていなかったワクワクする世界が出現します。その先に、「想像もしなかった」面白い人生が待っています!

自分の力で考えることが大事

久保寺 忠夫副校長

「日々思っていること、心がけていることを教えてください。」

とにかく健康で元気で、素早く動ける身体を日々キープすること。そのための努力は絶対に惜しまない。そして、たくさん情報・多くの課題が日々ハイスピードで動く中で、対応を素早く、すぐ動く、停滞させない、気持ちと血の通った判断、そして、いつもありがとうの気持ちと笑顔を忘れないこと。

「やりたいことが見つからない生徒がとるべき行動とは。」

先生、友人、家族を含めて、聞くことを恐れず、会話を交わすこと(間違った情報に注意するためにも大切)。そして、自分の力で考えることをとことん繰り返すこと。

「1年生、2年生、3年生へそれぞれの学年でやっておいたほうが良いことを教えてください。」

1年生 今の新しい環境にアジャストするために、人を知る。学校を知る。そのため、複眼的に好奇心を持って、何事にも攻めの

「60億通りの考え方がある」

込山 宣子教頭

「日々思っていること、心がけていることを教えてください。」

明るく、前向きに考え、行動すること。困ったこと、不安なことは必ず誰かに相談すること。自分の考えにこだわらないこと。地球上の人口は60億人です。60億通りの感じ方、考え方があり、尊重して生きていくためには、将来を具体的に描いてください。オーブンキャンドパスも、たくさん行ってください。

「3年生 高校生活の締めくくりをしてください。学習も運動も次の目標達成のために全力を尽くしましょう。」

「生徒へかける「魔法の言葉」をお願いします。」

「葛の花 踏みしだかれ

気持ちで取り組む。2年生 自己の置かれた環境、状況の中で具体的に動き、徹底的にチャレンジし、成果を求め、自分に自信を持てるよう毎日を計画的に取り組む。

3年生 目標を絞り込み、ただひたすらに、自分の力を信じ、夢、目標の実現に向けてより具体的に常に強気で取り組む。

最後に、とにかく読書の時間を毎日確保すること。そして、生涯にわたって活字から学び続ける習慣を身に付けること。

「生徒へかける「魔法の言葉」をお願いします。」

「心配することは無い。人間みんな同じだよ。」

て色あたらし この山道を 行きし人あり」

歌人・民俗学者の折口信夫(おりぐちしのぶ)の歌です。熱意をもって民俗学という新しい学問に、たった一人で取り組もうとしたところ、先人の学者の足跡を見つければ、孤独ではないと新たに奮い立ったという意味です。自分一人だけが悩み苦しんでいると思うと足は止まってしまうと思いますが、同志がいると力が湧いてきます。高校時代、あるいは長い人生において、同志を得て邁進されることを祈ります。

「秦高生の第一印象」

自転車を降りてきちんと頭を下げて挨拶した生徒と、最初に出会った生徒。その後、後にも会う生徒みんなが礼儀正しく、爽やかに挨拶を交わしています。心を通わせ、毎日を一生懸命に過ごしている高校生らしさを感じています。